

総合訪問(第2回)

一人一人の子どもを大切にする教育活動を!



今年度は小学校5校・中学校2校の総合訪問が予定されています。
今回は、第2回目の報告として、7月に実施された2校の教育活動の様子を紹介します。
他校の教育活動の特色や工夫点を知ること、お互いに高め合うことができれば幸いです。

一関市立大原中学校

大原中学校では、「考え 交わり 鍛え合う」を教育目標に掲げ、「知る・感じる・考える・伝える」活動ととして、特色ある学校づくりを進めています。

「心の通う挨拶 心を磨く清掃 心に響く合唱のできる学校」を目指して

●基礎・基本の定着を目指した取組

毎時間の「学習課題」を必ず提示し、その授業で身に付けさせたい力を明確にした指導を行います。

また、ペアや4人程度のグループでの話し合いを取り入れるなど、多様な学習形態を工夫しています。

さらに、授業と連動した家庭学習用の課題を教科で連携しながら毎日提示するとともに、「学びの壺」と名付けた基礎・基本の定着を図る取組(チェックリストの繰り返し)を全校で進めています。

●復興教育の視点に基づいたアプローチ

具体の生徒像は「目標をもつ」「感謝の気持ちを忘れない」「絶対にあきらめない」の3つです。復興教育の3つの教育的価値【いきる・かかわる・そなえる】をもとに被災地域への支援・交流活動や、防災教育を進めています。

●基本的生活習慣の確立

授業の終始、校舎内、家庭・地域で気持ちのよい挨拶や返事ができるよう取り組んでいます。

また、生活時程を守って行動することを大切にしています。



さらに、基礎体力の向上と健康への関心を高める取組ととして肥満傾向の生徒数の減少を目指しています。

金ケ崎町立三ヶ尻小学校

三ヶ尻小学校では、児童の安全を確保し、教育環境の整備に努め、教育課程の最適化を目指し、工夫と改善を加えながら「いわての復興教育」を進めています。

「豊かな知性と感性を備え、心身ともに逞しく、道徳的実践力を身に付けた児童の育成」を目指して

●身に付けさせたい力を明確にした「まなびフェスト」

自ら学ぶ子ども、心の豊かな子ども、たくましい子ども、それぞれ重点項目を3点掲げて数値目標を設定しています。特に、朝読書を週に4日取り入れ、1年間に低学年100冊以上、中学年90冊以上、高学年4,500ページ以上を目指し、家庭にも協力をお願いしながら取り組んでいます。

●子どもを大切にしたい掲示物の充実

誕生日の子ども写真に、名前の由来等を書き添え、校舎内に掲示しています。子どもたちを大切にしたい姿勢が強く感じられます。

●子どもの姿から見える復興教育

どの授業でも、目を輝かせて先生の話聞く姿勢が素晴らしかったです。また、途中強い地震がありましたが、あわてたり、騒いだりする児童もなく、先生の指示の下、机の下に潜るなど冷静に行動しました。日頃の復興教育・防災教育の成果が表れていました。

写真は、外国語活動に取り組む高学年の様子です。英語でインタビューし、元気に楽しく活動しているものです。ALTと息の合った充実した外国語活動を展開しています。



子どもに力をつけるために「わかりやすい授業」を!

≪外山敏所長の講評より≫



学びの入り口としての課題と、出口としてのまとめを明記
わかったこと、考えたことを整理して自分の言葉でまとめる
日常的に授業を見せ合い、子どもの学びを情報交換する

⇒ 板書の工夫
⇒ ノート指導の工夫
⇒ 授業の相互参観